地域経済季報

◎令和3年4～6月期
松江商工会議所

総評　今期も、新型コロナウイルス感染症の影響を多くの業種で受けることとなった。昨年同期比で持ち直しの動きが見られた業種があるものの、これは昨年発出された全国一斉の緊急事態宣言下における売上比較であり楽観視は出来ない。ビジネス・観光需要ともに人の往来が制限されることから、旅館・ホテル業や飲食業等を中心に依然として厳しい状態が続いている。さらには、建設業界における世界的な木材不足（ウッドショック）に起因する供給不足や価格の高騰の懸念、自動車・家電等の製造現場では半導体の供給不足が生じるなど、同感染症への対応に加えて、こうした外部環境の変化も事業者に追い打ちをかける要因となっている。来期も、同感染症の影響は避けられないと予想されるが、ワクチン接種の幅広い普及に一定の目途が立つなど明るい話題も耳にするようになっている。オリンピック・パラリンピック開催が現実味を帯びていることから、これを契機に官民一体の総力を挙げた気運醸成が切に期待されるとともに、1年以上に亘る同感染症との戦いに終止符が打たれ、ポストコロナ時代の幕開けとなることを願う。

		前期状況（1～3月期）	今期状況（4～6月期）	来期見通し（7～9月期）	調査事業所のコメント
建設業		↘	→	↘	今期は、公共工事の早着工事により、受注は安定した一方で民需は新型コロナウイルス感染症の影響もあり慎重な動きをみせた。来期は、資材価格、労務費等の上昇を懸念する声が多い。特に、住宅建築においては、世界的な木材不足により木材価格が高騰し、①住宅価格の値上げ②工期の見通しが立てにくいといった状況が続いている。
製造業		↘	→	→	今期は、農業機械関連では補助金施策による需要から好調維持、一部業種においても新型コロナウイルス感染症の影響を受けた前年から回復傾向にあるが、総じて業況感は悪い。来期は、長引く営業活動の制限や材料費の高騰に加え、半導体不足など先行き不透明の状況が続くと見られる。
卸売業		↘	↗	→	今期は、昨年度の大幅な落ち込みと比し、若干好転がみられた。来期も回復基調にはあるものの、販売する商品の確保が困難なカテゴリも出始めており楽観視できない。県による支援策が打ち出されたとしても適用される業種が限定されることから効果はあまり見込めない。
小売業	衣料品	↘	↗	→	今期は、緊急事態宣言下の前年同時期と比べれば若干回復しているが、東京や大阪等の取引メーカーにおいては廃業に追い込まれるなど、依然として厳しい状況は変わらない。来期は、通常であれば7月セール期間になるが、首都圏の百貨店休業等の影響により、メーカー在庫過多の企業などは早める企業もある。しかし、セールによる期待感も薄く、厳しい状況が続く予想。
	家電	↘	↗	→	今期は、国内全域に及んだ緊急事態宣言下の昨年同期と比較すれば売上は増加したが、例年開催する展示販売会については開催が出来ない状態が続いた。連日の五輪開催可否の議論の影響からか、期待されたテレビの買替え需要も思いのほか伸びていない。来期は、世界的な半導体不足による家電製品への影響が既に発生しており、供給不足はもとより製品価格への影響が懸念される。
	自動車	↗	→	→	今期は、2020年後半の回復を受けて底堅い伸びが期待されていたが、販売が順調に回復する一方で半導体チップ不足等の影響による減産や拠点の閉鎖等が影響し、売上は前年同月比横ばいで推移した。来期は、新型コロナウイルス感染症の影響や需給バランス等不透明感が根強いものの、横ばいで推移するものと予想。
	総合量販店	→	↗	→	今期は、巣ごもり需要により寝具やリビング用品は好調。化粧品は売れ筋が高級ラインにシフトするなど消費傾向に変化が見られた。催事については売り場面積を広げ出店数を減らし感染対策を徹底したうえで何とか開催に漕ぎつけた。一方、アパレルはコロナ禍によるブランド撤退もあり紳士服、婦人服共に厳しい状況が続いている。来期は、現状を維持しつつ、本格化する中元商戦に期待。
	スーパー	→	→	→	今期は、昨年度と比較すると減少はしたものの、保存性の高い食品・簡便調理食材など、堅調な家庭内食事需要により売上は横ばいで推移。来期は引き続き横ばいで推移するものと予想するが、全国的に進むワクチン接種により消費者行動が外に向くことによる影響がどの程度になるか注視する必要がある。
	特産品	↘	↘	↘	今期は、緊急事態宣言の発令もあり、GWの売上は新型コロナウイルス感染症以前と比較し6割程度に止まり、観光客数の減少が大きく影響した。県内の小中学生が修学旅行で松江を訪れる機会が増え、県より発行された「しまねっこクーポン」の利用も見受けられた。しかし、県外者の利用の多い「地域共通クーポン」と比較すると恩恵は少ないため依然厳しい状況が続いている。来期は、五輪の開催も控えており、観光需要の回復が売上に大きく影響することが予想される。
サービス業	飲食	↘	↘	↘	今期は、隣県に緊急事態宣言が発令され、市内でも繁華街の店舗から陽性者が出るなど感染増加の兆候が見られたため、自粛、警戒感が高まり市民、観光客とも利用が著しく低下。「Go To Eat」の効果も限定的で週末でも閑散とした状況が続くなど売上は大きく低迷した。来期は、五輪や松江GENKI花火も予定されているが、ワクチン接種等により感染状況が減少に転じない限り、引き続き厳しい状況が続くものと懸念される。
	旅館・ホテル	↘	→	→	今期は、一部対象地域で緊急事態宣言が延長になったものの、5月の大型連休に限り稼働率は好調であったが、連休明けからは低調に推移しており、厳しい状況が続いている。来期は五輪の開催により、都市部からの観光客が増加することが見込まれる。「松江GENKI花火」や「松江水燈路」等のイベントも開催予定であり、夏休みシーズンを挟んでの宿泊需要に期待。
	運輸・旅客	↘	↘	↘	今期は、宅配については依然として高い需要があるものの、人流や公共工事の減少により物流も滞り厳しい状況。旅客業では修学旅行での利用以外の貸切需要はほとんどなく、会食の自粛ムードによりタクシーの利用も依然として少ない。来期は観光客の増加は見込めるものの、旅客業への好影響は期待薄く厳しい状況が予想される。

※売上の前年同期比について ↗ → ↘ により表しています。